

校長室から

(R6.10)

～校長の独り言（思いをのせて）～

文責：菅 昌徳

あかね祭 最高！！

～一人一人が輝いた あかね祭～



10月に入り、学校では「あかね祭」に向けて実行委員会を中心に準備が始まりました。実行委員会からあかね祭のテーマが発表され、子どもたちはそれぞれ、ドキドキといった顔つきであかね祭に向けた学習の始まりを実感していました。私自身も「どんな発表をするのかな」と心躍らされ、楽しみいっぱいになりました。本番に向けステージ発表の練習やバザーの製品作り、ディスプレイ広告作りなど、それぞれが本番をイメージしながら真剣に思いを込めて取り組んでいる姿が輝いていました。

10月26日（土）いよいよ本番、登校してくる子どもたちには緊張からか少し硬い表情でしたが、教室に入るとエネルギー全開、フルスロットルで体育館に向かう様子が伺えました。「みんないい顔しているね、今日はみんなが主役、存分に楽しんでね」との思いがあふれ出し、子どもたちに掛ける声が自然と大きくなっていました。

児童生徒代表の挨拶で始まったあかね祭、それぞれのグループの発表では、友達と協力しながら活動したり、学習の成果を発表したりと自分らしさを存分に発揮し、笑顔いっぱいになり遂げてくれました。子供同士で掛け合いをしながら取り組む姿、児童生徒の活動を見守りながら支援、補助をする先生方の様子にあかね祭の一体感を感じました。「児童生徒が・・・」、「教が・・・」、ではなく、「児童生徒と教師で作って楽しむ、そして参観の方々を楽しんでもらい、笑顔になってもらう」という思いがいっぱいのあかね祭になりました。

あかね祭を終えて、子供たち一人一人のもっている秘めたる力をこれからもいろいろな活動で発揮できるように学校生活を展開していかなければと深く感じさせられました。



みんなよくやったね 最高！！
そして、笑顔 をありがとう

